

## 歯ブラシの市場と商品の安全対策

### 【歯ブラシの市場の動向】

- 歯ブラシの市場販売数量は、2億9千7百万本（平成27年）、そのうち子供用の歯ブラシは3千6百万本（12%）である。
- 乳幼児向けの歯ブラシは、育児用品の製造事業者が製造する商品もある。
- 歯ブラシの主な販売経路は、ドラッグストア、スーパー、ホームセンター等である。

### 【子供用の歯ブラシの種類】

- 子供用の歯ブラシは、月齢・年齢、歯の本数、乳歯期、生え変わり期などに応じた商品がある。
- 子供自身が使用するもの、保護者が仕上げみがきに使用するもの、両方を兼用するものがある。
- 形状は、成人用の歯ブラシと同じ「通常タイプ」、持ち手をリング形にしたり、安全具を付けて、喉突き防止対策を施したもの、喉の奥に入れすぎない目安となるコブを付けたものなどがある。
- 乳幼児向けの商品に喉突き防止対策を施した商品がある。
- 子供の成長段階に応じて、喉突き防止の安全対策と歯みがきのしやすさとのバランスが考慮されている。

### 【子供用の歯ブラシの安全対策】

- 子供用の歯ブラシの統一的な安全基準はないが、製造事業者それぞれが安全対策を講じている。
- 喉突き防止のための安全対策は、「のど突き防止プレート」や「のど突き防止カバー」などの構造によるもの、衝撃がかかっても割れにくい素材など材質によるものがある。
- 通常タイプやコブ付タイプの子供用の歯ブラシも、誤飲チェッカーを基準にした設計や、「タマゴ型ヘッド」など、喉突き防止に配慮されている。
- 「ハブラシを口に入れたまま、走る、遊ぶ等をしない」などの注意表記がされているが、統一的な基準はなく、内容は商品によって異なる。
- 事故情報は、事業者により、専門窓口、販売店、歯科医院の営業を通じて収集される。

## 第1 歯ブラシの市場の動向と子供用の歯ブラシの種類

### 1 歯ブラシの市場の動向

経済産業省工業統計調査によると、歯ブラシの国内出荷額は、近年約 400 億円で推移している（図 4-1）。従業者規模別出荷額をみると、従業者数 99 人以下の事業所が 3 割弱、100 人以上の事業所が 7 割強を占める<sup>1</sup>。

財務省貿易統計によると、輸入額、輸出額はいずれも近年増加傾向にあり、平成 27 年の輸入額は 126 億円、輸出額は 23 億円である<sup>2</sup>（図 4-2）。

旅館・ホテル等で提供される業務用以外の家庭用の歯ブラシの市場販売数量は、平成 27 年で 2 億 9 千 7 百万本、そのうち子供用の歯ブラシは 3 千 6 百万本（12%）である<sup>3</sup>。

歯ブラシやブラシに関係する製造業、その他関連事業の企業からなる全日本ブラシ工業協同組合は、国内の歯ブラシ製造事業者が所属する団体であり、中小企業が組合員であるほか、大手企業も賛助会員として参画している（組合員のうち歯ブラシを主要製造品とする中小企業は 47 社、賛助会員のうち歯ブラシを製造する大手企業は 4 社）<sup>4</sup>。中小企業では、自社ブランド製品を自社で製造する他、他社製品の委託生産、OEM 生産<sup>5</sup>やドラッグストアなどのプライベートブランド製品を生産している。

また、歯ブラシの製造事業者の商品のみならず、歯の生え始めから 3 歳頃までを対象とした乳幼児向けの歯ブラシは、育児用品の製造事業者が製造する商品もある。

成人用の歯ブラシ及び子供用の歯ブラシの主な販売経路は、ドラッグストア、スーパー、ホームセンター等である。また、育児用品製造事業者が製造する乳幼児向けの歯ブラシは、ベビー用品店、ドラッグストア、ネット通販等が主な販売経路となっている。

---

<sup>1</sup> 出典：「工業統計調査 平成 26 年確報」（経済産業省）

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kougyo/result-2/h26/kakuho/hinmoku/index.html>

をもとに作成。

<sup>2</sup> 出典：「貿易統計」（財務省）検索ページ（平成 28 年 6 月検索）

<http://www.customs.go.jp/toukei/srch/index.htm?M=01&P=0> をもとに作成。

<sup>3</sup> ライオン株式会社調べ

<sup>4</sup> 出典 全日本ブラシ工業協同組合ホームページ <http://www.ajbia.or.jp/> をもとに作成

<sup>5</sup> 他社ブランドの製品を製造すること（Original Equipment Manufacturing）

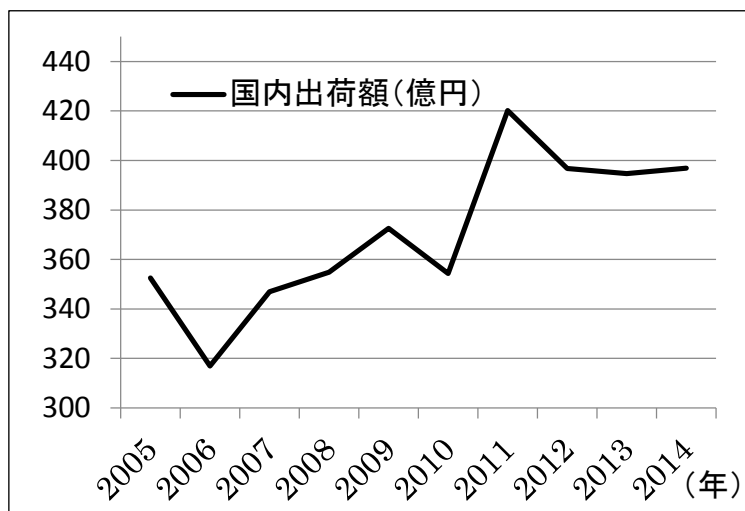


図 4 - 1 歯ブラシの国内出荷額の推移

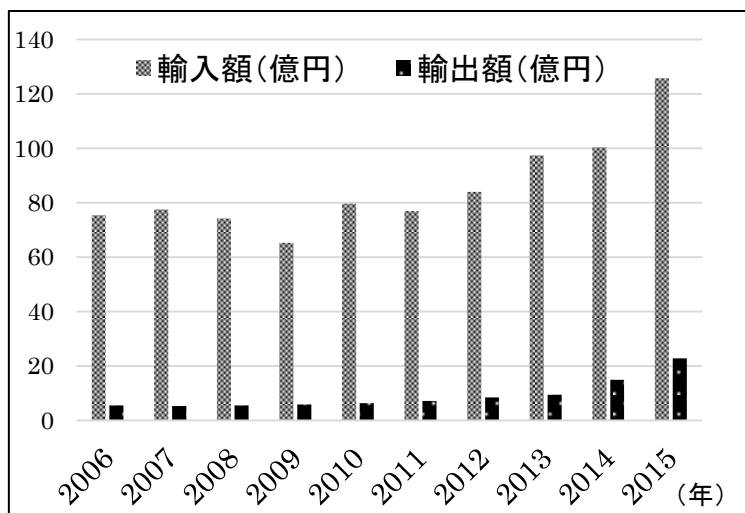


図 4 - 2 歯ブラシの輸入、輸出額の推移

## 2 子供用の歯ブラシの種類

子供用の歯ブラシは、月齢・年齢、歯の本数、乳歯期、生え替わり期などに応じた商品があり、子供自身が使用するもの、保護者が仕上げみがきに使用するもの、両方を兼用するものがある。

形状は、成人用の歯ブラシと同じで、ハンドル・ネック・ヘッドの大きさを子供の歯や口腔に合うように設計されたもの（以下通常タイプという）（図4-3）と、持ち手をリング形にしたり、通常タイプの持ち手に安全具を付けて、喉突き防止対策を施したものの、持ち手に喉の奥に入れすぎない目安となるコブを付けたものなどがある（図4-4）。

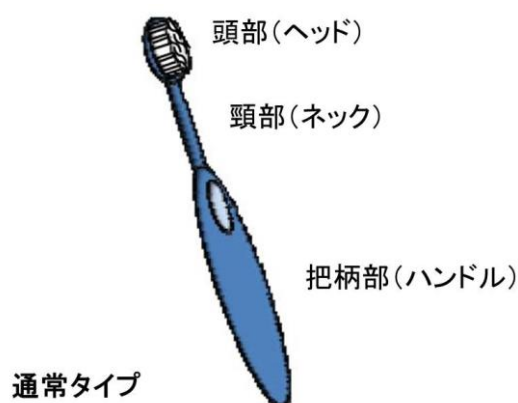


図4-3 通常タイプの歯ブラシと各部位の呼び方



図4-4 喉突き防止対策を施した商品の例

(イラスト出典：消費者庁・国民生活センター「乳幼児の歯ブラシによる事故に注意！」)

子供用の歯ブラシの一例について、商品別の適用年齢と種類を表4-1に示す。多くは通常タイプやコブ付タイプであり、乳幼児向けの商品に手持ちリングタイプや安全具付きタイプがある。

また、子供の成長段階に応じて、安全対策と歯みがきのしやすさ（良くみがけること）のバランスが考慮されており、例えば、対象月齢12か月頃までは喉突き防止対策を優先して安全プレート付きとし、12か月以降は歯みがきのしやすさを優先してコブ付タイプを採用している商品がある。

表4-1 子供用の歯ブラシ商品別の適用年齢と種類

製品		3か月～	6か月～	1歳～	1歳6か月～	2歳～	3歳～	4歳～	5歳～	6歳～	7歳～	8歳～	9歳～	10歳～	11歳～	12歳～	
A	仕上げ																
	幼児用（2～4歳）								コブ付								
	園児用（4～6歳）									コブ付							コブ付
	小学生用（6歳以上）																
B	仕上げ																
	生えはじめ～6歳																
C	仕上げ																
	1.5～5歳																コブ付
D	仕上げ																
	1.5～5歳																
E	仕上げ																
	歯の本数（1～6本）																
	歯の本数（6～8本）																
F	仕上げ（生えはじめ）																
	仕上げ（奥歯）																
	段階1（6～8か月）																
	段階2（8～12か月）																
	段階3（12～18か月）																
G	仕上げ（6か月～）																
	仕上げ（12か月～）																
	乳歯ブラシ（3か月～）																
	乳歯ブラシ（8か月～）																

## 第2 子供用の歯ブラシの安全対策

国内においては、歯ブラシについて、家庭用品品質表示法、JIS S3016、全日本ブラシ工業協同組合の自主基準があるのみで、現在、子供用の歯ブラシについて設けられた統一的な安全基準はないが、製造事業者それぞれが、次のような喉突き防止のための安全対策を講じている。

### 1 構造・デザインによる安全対策

構造・デザインにより、喉突き防止対策をする商品には次のようなものがある。

- ・「のど突き防止プレート」つき
- ・「のど突き防止のカバー、ホールドベルト」
- ・喉の奥に入れすぎない目安となる「ストッパーショルダー」つき
- ・「リング形状」
- ・一定以上の力がかかると曲がる



図4-5 構造・デザインにより、喉突き防止対策をする商品の例

また、通常タイプやコブ付タイプの子供用の歯ブラシにおいても、子供の口腔の大きさを表した誤飲チェッカーを基準にして、使用時にハンドルが口腔外にあれば喉を突かないよう設計されていたり、口蓋への安全性を考慮した「タマゴ型ヘッド」を採用するなど、安全に配慮し設計されている。

## 2 材質による安全対策

子供が誤って振り回したり投げたりして衝撃がかかっても折れにくい素材を採用したり、衝撃試験、ハンドル疲労試験等により強度が確認されている。

## 3 その他の安全対策

喉突き防止対策だけでなく、次のような安全対策が施されている。

- ・ 噛んでも毛が抜けにくい、割れにくい設計
- ・ 歯や歯茎を傷つけにくい毛先加工
- ・ 子供が振り回したり投げたりして衝撃がかかっても折れにくい素材
- ・ 人間工学に基づく、子供の成長に合わせた歯ブラシのサイズ設定
- ・ 保護者に対して、正しい歯みがきについて啓発活動
- ・ 注意表記
- ・ 発育ステージに合わせた品揃え
- ・ 子供の運動機能に応じた握りやすいハンドル

## 4 注意表記

歯ブラシのパッケージには法令で決められた表示項目のほか、商品の構造、特長、使用上の注意事項等が記載されている。

子供用の歯ブラシには、上記の事項に加え、保護者に対して、子供の事故を防止するための使用上の注意事項が記載されている。注意表記の例を 図 4-6 に示す。

注意表記については統一的な基準はなく、内容は商品によって異なる。

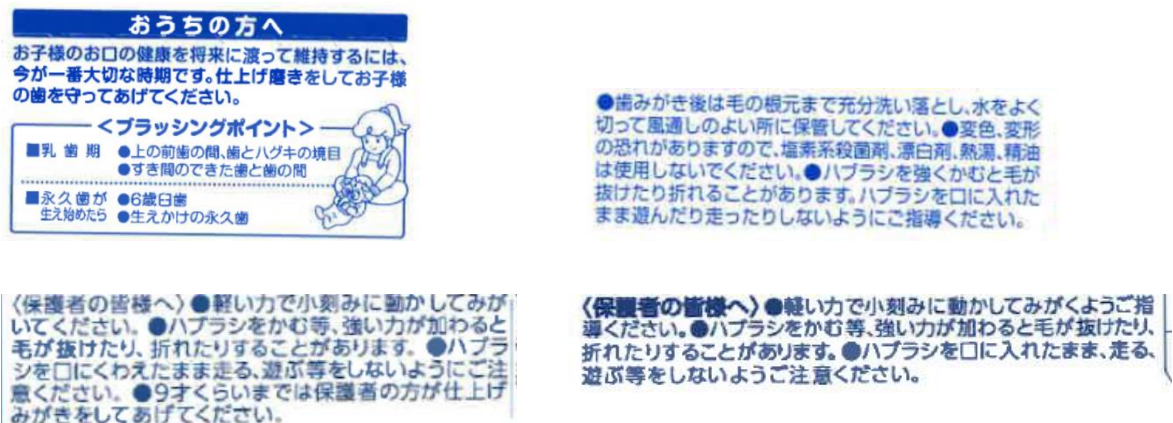


図 4 - 6 子供用の歯ブラシのパッケージの注意表記の例

## **5 事業者における事故情報の受付・安全対策体制**

顧客からの意見、事故情報の収集は、各事業者毎にお客様相談窓口など専門窓口を通じて担当部署にフィードバックされるほか、販売店や歯科医院の営業からも情報収集されている。

(調査協力：コンビ株式会社、サンスター株式会社、合資会社三和歯刷子工業所、全日本ブラシ工業協同組合、ピジョン株式会社、ライオン株式会社、株式会社リッチェル)